

目 次

平成 30 年度青臨技生理機能検査部門研修会.....	八戸赤十字病院検査技術課 鍋島 哲 - 1 -
平成 30 年度青臨技病理検査部門・青森県細胞検査士会研修会に参加して.....	
一部事務組合下北医療センター むつ総合病院中央検査科 中村安孝 - 2 -	
平成 30 年度青森県血液部門研修会.....	弘前大学医学部附属病院検査部 櫛引美穂子 - 3 -
平成 30 年度第 4 回理事会議事録.....	- 4 -
平成 30 年度第 5 回理事会議事録.....	- 7 -
平成 30 年度第 6 回理事会議事録.....	- 9 -
平成 30 年度第 7 回理事会議事録.....	- 13 -

【研修会報告】

平成 30 年度青臨技生理機能検査部門研修会

八戸赤十字病院検査技術課 鍋島 哲

平成 30 年 10 月 8 日の青臨技生理機能検査部門研修会について報告いたします。

講演 1 では『神経伝導検査～波形から病態を見る～』というテーマで、高橋広大先生より神経伝導検査の基礎知識から、波形からどのようにして病態を推定するかついて講演していただいた。また、様々な症例の MCS、SCS 波形を数多くご提示いただき、初心者のみならず専門性の高い業務に携わる技師まで、病態に対する知識をより深める内容であった。講演のみならず、Q&A レクチャーにおいても、実際に神経伝導検査を行いながら参加者一人ひとりに細やかにレクチャーしていただき、大変好評であった。

講演 2 では『症例から学ぶ～脳波検査に求められる役割』というテーマで、原悦子先生よりてんかんの基礎知識からそれぞれの賦活法について講演していただいた。てんかん発作の映像や、その疾患の特徴的な脳波波形をご提示いただき、また非てんかん発作との鑑別についても詳細に解説していただいた。さらに、異常波と判読される可能性があるアーチファクトによる波形も数多くご提示いただき、アーチファクトが混入した際の除去法など、検査の一助となる知識が得られる内容であった。

講演 3 では『スパイロメトリーの基礎知識』というテーマで、チェスト株式会社の西貝学先生より、肺活量、努力性肺活量の測定における注意点や基礎知識について講演していただいた。呼吸生理学の理解や、検査項目の臨床的意義は呼吸機能検査を行う技師にとって必要不可欠だが、青森県内では呼吸機能検査についての研修会がここ数年ほとんど開催されていないことから、今回の講演は大変有意義なものであ

ったと考える。フローボリューム曲線の手技不良例から、どのような原因が考えられるのか、またどのように患者様に説明を行うかなど、日常検査に必要な知識が得られる内容であった。

今回の研修会は講演だけでなく、日本光電様、チェスト株式会社様の協力のもと、最新の機器を用いてそれぞれの先生方にレクチャーをしていただき、大変有意義な研修会であった。とくに生理機能検査は知識のみならず検査者の技術に左右されるため、今後もこのような研修会に参加していきたいと考える。



平成 30 年度青臨技病理検査部門・青森県細胞検査士会研修会に参加して

一部事務組合下北医療センター むつ総合病院中央検査科 中村安孝

10月9日、八戸赤十字病院にて今年度の病理検査部門・細胞検査士会研修会が開催されましたので、その参加報告をさせていただきます。今回は病理部門3題の講演と、細胞検査士会と合同研修会という形で細胞診スライドカンファレンスが行われました。初めの講演は『BRCA Analysis 診断システムについて-』をSRL がんゲノム戦略室の蝶野先生に講義していただきました。BRCA 遺伝子に変異を有する乳がん患者において、PARP 阻害剤の投与可否判断のために補助的に用いられるコンパニオン診断プログラムで、検査を行うにあたり遺伝子の役割や患者登録、依頼、結果確認などの流れなどを説明していただきました。最近ではコンパニオン診断関連での様々な遺伝子検査が行われていますが、病理が臨床と委託会社の間に入り、検体の準備から検査の依頼説明などすることが多く、病気と遺伝子検査について知識を増やしていかなければと感じました。

次に『病理検体取り違い防止対策について-当院の取り組み-』を、青森県立中央病院 病理部 斎藤千世子技師から、病理学会の病理検体取り扱いマニュアルに基づいた取り組みが説明されました。各工程での人員の配置、チェックのシステム、カメラや動画を用いてのトレーサビリティの確保など、問題点の抽出、検証、改善について行われており大変参考になりました。

また、洛和会音羽病院 臨床検査部 森藤哲史技師による『病理検査における精度管理』では、神戸大学病理部での取り組みが紹介されました。神戸大学ではISO15189 認定を取得されており、病理検査の質の管理・維持やチェックの体制、新人・若手の教育、医療安全など幅広く説明いただきました。問題点に対する改善方法などはそれぞれの規模や人員にあった方法を考え、実行することが重要であると感じました。

最後は細胞診スライドカンファレンスが行われ、今回はリンパ節2題、鼻腔腫瘍1題が出題されました。

私は3題とも悪性リンパ腫？と思ってましたが、指名された若手の検査士の皆さんは細かく所見を取り、推定病変と鑑別疾患をあげて回答されており、しっかりとした教育を受けているなあと感心いたしました。最後に、会場の提供から準備までしていただいた八戸赤十字病院 病理の皆さん、講師の先生方、清水部門長並びに、実務委員の皆様ありがとうございました。



洛和会音羽病院 森藤哲史講師



細胞診スライドカンファレンス

平成 30 年度青森県血液部門研修会

弘前大学医学部附属病院検査部 櫛引美穂子

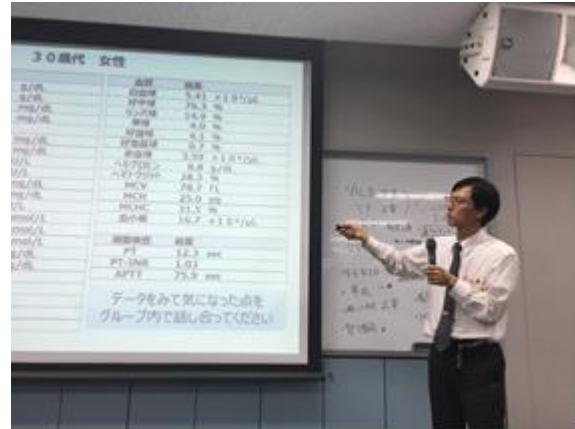
今年度の研修会は、おもに若手臨床検査技師を対象とし、仕事に対する熱意と日常の悩みを共有する場の提供として企画した。研修会前半は、勤務経験 10 年未満の若手臨床検査技師 2 名による自施設の勤務状況と仕事に対する思いを発表した。血液検査は技師の判断が疾患の診断と治療の選択に大きく影響するため、日々真剣に業務に向き合う態度に好感が持てる内容であった。また、退官された先輩臨床検査技師をお招きし、その経験から後輩へ伝えたい貴重な情報が提供され、若手からも質問が出るなど大変有意義な時間となった。

研修会後半は、検査試薬製造販売メーカーの積水メディカル株式会社学術部門様に依頼し、凝固線溶検査についてご講演いただいた。講演はお話をするだけではなく、参加者で数名ずつのグループを組み、講師と対話しながら進める参加型の形式をとっていただいた。日常的に遭遇する検査結果の異常値について、何が想定され、どのように確認し、どう診療科にアプローチするか、講師からの質問投げかけに対しグループで討議した。講師と参加者の対話が活発であり、研修会が予定の時間で終了できるのか懸念されるほどの盛況ぶりであった。

検査室によっては、誰にも相談できずに悩みながら結果報告をしている技師がとくに青森県では多いと思われる。基礎的な学問から実際の症例まで、参加者皆さんとディスカッションしながら読み解く楽しさを味わうとともに、血液検査に携わる臨床検査技師にとって、いかに自己の判断が大切なのか知る有意義な研修会となった。



青森県立中央病院臨床検査部
寺澤 儀男技師



積水メディカル株式会社 学術・技術担当
須永 宏行氏



【理事会議事録】

平成30年度第4回理事会議事録

1. 日時：平成30年8月25日（土）10:00～11:45
2. 場所：青森市民病院 1階 講堂
青森市勝田1丁目14-20 Tel:017-734-2171
3. 出席者：齋藤浩治、石山雄大、三上英子、柴田絵里子、中村智代、吉田泰憲、十文字礼子、
番場隆彦、三橋淳治、丸光夫、山本沙織、田代博美、佐々木久
欠席者：野坂知加、吉岡治彦、太田孝雄

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に十文字理事が指名され、審議が行われた。

【報告事項】

- 1) 第2回理事会議事録報告
第3回理事会議事録報告
資料として配布された「平成30年度第2回理事会議事録」「平成30年度第3回理事会議事録」に従って齋藤会長より報告があった。

議事録の内容について了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2) 学術部経過報告

石山学術部長より開催した研修会、精度管理調査が無事終了したとの報告があった。

3) 公益部経過報告

齋藤会長より以下の報告があった。

- ・ 高校生の心電図検診が終了した。
心電計が一部新しいものがあり、電極のつけ間違いによる再検査があったが終了した。日当の清算のため各施設長に派遣の集計を依頼している。

三上公益部長より以下の報告があった。

- ・ 7月25日 高校生ガイダンス（弘前大学病院）
参加者は100名に上り、アンケートは集計中である。
来年以降は継続したいが、弘前大学病院の負担が大きくなっている。受付の入口がわからなかったり、弘前大学の本校に行った生徒もあった。
学校には案内をしているが生徒に周知されていないようであった。日程・案内等検討する必要がある。
取材もあり、9月号に掲載の予定。

4) 渉外部経過報告

三上公益部長より特になしとの報告であった。

5) 事務局経過報告

野坂事務局長不在のため、配布資料に基づき齋藤会長より報告があった。

- ・ 青臨技関連経過報告
- ・ 日臨技関連経過報告
- ・ 関連団体経過報告
- ・ 青臨技支部関連経過報告

今後の予定について説明があり、以下の要望があった。

9月15・16日 十和田市において認知症対応向上研修会が予定されている。申し込みの人数が少ないので各施設で参加を促していただきたい。

検体採取に関する指定講習会について、来年度、仙台市での開催は1回になる。東北地区で受講が少なく、青森県では三八地区、中弘南黒地区が少ない。免許に付随するものなので受講を促していただきたい。

【議題】

1) 青臨技の運営について

配布資料に基づいて齋藤会長より説明があった。

- ・ 北日本支部医学検査学会について
各支部で多くの会員に参加してもらうよう声掛けをお願いしたい。
- ・ 検体採取に関する指定講習会受講促進

- ・事務局の負担軽減と事務職員採用の検討について
事務員採用について
業務局の負担軽減のため、各支部にも共同作業していただきながら、仕事の内容・分担など充分検討して進める必要がある。
- 事務局からの連絡方法について
全施設できるだけメールで行いたい。9月末までに各支部で支部の施設がメールでの送信可能か調査していただきたい。郵送が必要な施設には、事務局から各支部へ送られたデータをもとに、各支部から施設へ郵送可能かを含め今年度検討したい。
- 発行文書や総会議案書の作成について
公文書や総会の議案書、県学会の抄録集等、支部の事務局長や部門長の協力を得て共有フォルダなどで編集可能な方法を検討したい。

- ・施設代表との意見交換
各施設の技師長、責任者と青臨技の運営について意見交換を行いたい。
9月末を予定として日程を調整する。
- ・スムーズな世代交代にむけて
青臨技会長、事務局を持ち回りで進めているが継続していきたい。
1チーム2支部（東青と下北支部、三八と上十三支部、中弘南黒と西北五支部）、任期は1期2年、2期ずつの持ち回りを提案する。
各支部内での活動も青臨技の運営を見据え人材の育成や確保を考えて運営をお願いしたい。

- ・学術部門について
部門によっては部門長、精度管理委員がなかなか決まらないことがあり、運営方法、部門長の人材確保についても検討が必要である。部門長・副部門長を持ち回りにしてはどうか、部門長に提案する。
部門長と支部との連絡を密にしてほしい。
精度管理・標準化委員会のメンバーは各部門の精度管理委員とする。
- ・精度管理調査（青臨技）について
今年度は、北日本医学検査学会のため、10月に案内し11月末発送ではどうか部門長に提案し最終決定とする。
- ・倫理委員会について
名称は残し、担当を現会長のほか、前会長・前々会長に打診する。
- ・法改正への対応について
医療法の一部改正施行が12月1日になっている。北日本医学検査学会にて、日臨技の滝野専務理事が講演されるので、各施設の精度管理責任者など参加していただきたい。
- ・青臨技災害対策マニュアル改定
- ・都道府県技師会リーダー育成研修会
日臨技から開催の要望もあり今年度開催したい。
- ・認知症対応能力向上講習会Bへの参加依頼

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

2) 報告事項

- ・地域ニューリーダー育成研修会（日臨技開催）
10月12～14日 八戸市立市民病院 須藤氏参加予定
- ・自治体病院・診療所研修会（12月1日 アスパム研修室）

3) その他

石山学術部長より要望があった。

- ・11月予定の北日本医学検査学会について、実務委員を依頼すると思うのでよろしくお願ひしたい。予算が厳しいので可能であれば病院出張も検討していただきたい。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

平成30年度第5回理事会議事録

1. 日時：平成30年10月27日（土）10:00～11:45
2. 場所：青森市民病院 3階 大会議室
青森市勝田1丁目14-20 Tel:017-734-2171
3. 出席者：齋藤浩治、石山雅大、三上英子、太田孝雄、柴田絵里子、野坂知加、吉田泰憲、
十文字礼子、番場隆彦、三橋淳治、丸光夫
欠席者：田代博美、吉岡治彦、中村智代、佐々木久、山本沙織、小島佳也、津田昭子

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に十文字理事が指名され、審議が行われた。

【報告事項】

1. 第4回理事会議事録報告
資料として配布された「平成30年度第4回理事会議事録」に従って齋藤会長より報告があった。
議事録の内容について了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。
2. 学術部経過報告
石山学術部長より以下の研修会が終了したとの報告があった。
 - ・生理機能検査部門研修会
 - ・病理検査部門・青森県細胞検査士会研修会
3. 公益部経過報告
齋藤会長より以下の報告があった。
高校生心電図検診について、欠席者・電極の付け間違いの対応、青森北斗高校の後期入学者の検診を行い、すべて終了した。

4. 渉外部経過報告

太田渉外部長より特になしとの報告であった。

5. 事務局経過報告

野坂事務局長より、配布資料に基づき以下について報告があった。

- ・青臨技関連経過報告
- ・北日本支部関連経過報告
- ・日臨技関連経過報告
- ・関連団体経過報告

6. その他

青臨技代表者会議が行われ、齋藤会長より各施設の代表者に以下の報告と学会等についての協力依頼、青臨技での検討案件等説明がなされた。

- ① 高校生学生ガイダンス、認知症対応向上研修会 B、地域ニューリーダー育成研修会（日臨心電図技開催）が終了したことを報告した。
- ② 北日本支部学会の進捗状況の説明と学会企画に対する協力の依頼、法改正への対応として講演があるのでたくさん参加していただくよう依頼した。
- ③ 青臨技の運営等について以下の内容について説明した。
 - ・事務局の文書発送等の負担を軽減する為、メール配信の方法についての検討
 - ・学術部門の運営と部門長の人材確保についての協力依頼
 - ・検体採取講習会の受講促進
 - ・会費の見直しについて
 - ・求人情報の HP への掲載を検討
- ④ 技師連盟への協力を改めて依頼した。

【議題】

1. 青臨技の運営内容等について

1) 北日本支部医学検査学会各支部

内で施設に引き続き声がけして多くの会員に参加してもらいたい。

- ・法改正の対応

学会企画、日臨技企画として講演があるので各施設の精度管理責任者は参加をお願いします。

- ・技師連盟関連

技師連盟ブースは太田さんが担当します。

2) 事務局の負担軽減と事務職員採用検討

事務局から理事や施設への連絡方法について、支部で各施設のメール対応可否の状況を確認していただきたい。

発行文書や総会議案書等の公文書の作成について、共有・分担して編集するなどの方法を今後も検討する。

3) 青臨技の運営についてスムーズな世代交代の検討

4) 精度管理調査について

11/1(木)：HP 掲載と各施設へ連絡

11/5(月)～11/16(金)：参加申し込み

11/26(月)：発送

12/14(金)：回答締め切り

・ 試料やその取り扱い、郵送の方法、フォトサーベィの取り扱い、会員のみ閲覧を可能にするなど
十分な配慮を必要とし、今後検討する。

5) 青臨技災害対策マニュアル改定を今後行うこととした

6) 日臨技災害派遣技師研修会へ派遣

・ 太田渉外部長が出席することとなった

7) 青臨技に対し共催依頼があり承諾した

・ 青森県、青森県合同輸血療法委員会主催「安全な輸血医療を行うための研修会」

・ 2018年度青森県感染対策協議会（AICON）特別講演会

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

2. 日臨技災害連絡責任者及び各委員の選任について

1) 日臨技災害連絡責任者の選任について

渉外部長を災害連絡責任者とすることを決定した。

2) 倫理委員会について

横山元会長、山崎元会長と齋藤会長に決定した。

3) 学術部門 精度管理・標準化委員会のメンバーについて

精度管理・標準化委員会のメンバーは各部門の精度管理委員とする。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

平成 30 年度第 6 回理事会議事録

1. 日 時：2019年2月2日（土）13:00~14:40

2. 場 所：青森市民病院 1階 講堂

青森市勝田1丁目14-20 Tel:017-734-2171

3. 出席者：齋藤浩治、石山雅大、三上英子、太田孝雄、野坂知加、吉岡治彦、高橋智代、吉田泰憲、
十文字礼子、番場隆彦、丸光夫、山本沙織、田代博美、佐々木久、津田昭子

欠席者：柴田絵里子、三橋淳治

定款第 5 章第 32 条及び諸規定により、議長に齋藤浩治があたり、書記に十文字理事が指名され、審議が行われた。

【報告事項】

1. 第 5 回理事会議事録報告

齋藤会長より、資料として配布された「平成 30 年度第 5 回理事会議事録」に基づき報告があった。
議事録の内容について了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 第7回日臨技北日本支部医学検査学会決算報告、会計監査報告
齋藤会長より、資料として配布された「第7回日臨技北日本支部医学検査学会決算書」をもとに説明があった。
津田監事より「第7回日臨技北日本医学検査学会」「第7回日臨技北日本支部医学検査学会情報交換会」の会計監査をおこなったところ、正確かつ適正であったとの報告があった。
理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。
3. 学術部経過報告
石山学術部長より、研修会は滞り終了しています。青臨技精度管理調査は現在集計中との報告があった。
部門長・副部門長・精度管理委員について、特に生化学部門でなかなか決まらない状況なので、協力をお願いしたい。
4. 公益部経過報告
特に報告はなしとのことであった。
5. 渉外部経過報告
太田渉外部長より、配布資料「平成30年度災害派遣技師研修会（日臨技）」に基づき報告があった。
 - 1) 災害医療概論
 - 2) 被災地医療で医療活動を行うために必要なこと
 - 3) 国際医療技術財団（JIMTEF）の活動紹介
 - 4) 派遣準備から被災地入りまでに必要なこと
 - 5) 災害時の机上シミュレーション
 - ◆ 派遣技師の活動内容
被災地の病院や診療所の医療支援
救護所や避難所等における医療健康管理等
機器・試薬での供給支援
 - ◆ 被災地での活動（心得）
「傾聴する」気持ちをもって接すること。学術目的や発表目的の災害医療であってはならない

齋藤会長より、青臨技としても災害時支援組織図の見直しを渉外部中心に検討していただきたい。
研修会の開催や医師、看護師等との連携も含め検討する必要があるとの意見があった。
6. 事務局経過報告
野坂事務局長より、配布された資料をもとに以下の報告と、今後のおもな学会、研修会等の開催予定について説明があった。
 - 1) 報告事項
青臨技関連報告
北日本支部関連報告
日臨技関連報告
関連団体経過報告
青臨技支部関連報告

2) 今後のおもな学会等の開催予定

青臨技関連

2月23日：平成30年度 青臨技 血液部門研修会

北日本支部関連

2月9日：平成30年度日臨技北日本支部 染色体・遺伝子検査部門研修会

日臨技関連

2月16,17日：平成30年度先駆的臨床検査技術研修会

脳脊髄神経モニタリング研修会

2月23,24日：平成30年度先駆的臨床検査技術研修会

最近の植込み型心臓デバイスの治療と生理検査

5月18,19日：第68回日本医学検査学会 in 下関

関連団体

青臨技支部関連

2月2日：上十三支部 平成30年度上十三支部合同研修会

2月16日：三八支部 第48回三八地区臨床検査懇話会

2月27日：三八支部 生理検査部門勉強会

齋藤会長より、支部単位の研修会を年に1～2回は開催してほしいとの要望があった。

7. 第45回青森県医学検査学会について進捗状況報告

佐々木理事より、第45回青森県医学検査学会の進捗状況について報告があった。

教育講演と特別講演ですが、北日本学会で好評であった「若手実行委員企画」を、県学会でも進めている。特別講演については、「すい臓がんステージIVから還ってきた来た男」の著者川嶋勝美さん（青森市出身）に打診しているところです。

齋藤会長より説明があった。

一般演題募集、抄録原稿提出は、日臨技のシステムで登録していただくように準備しています。締め切りは3月29日必着とします。

発表データの受付は事務局ではなく、県学会担当の東青支部にお願いしたい。事前受付、当日もしくは前日受付の両方ですすめたい。

利益相反状態について開示していただくよう案内する。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

8. その他

齋藤会長より配布資料に基づき説明があった。

1) 名義使用等

青森県糖尿病療養指導研究会主催「糖尿病オープンセミナー2019」の後援依頼があり了承しています。

2) 日臨技関連

- 日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて（答申）
- 平成31年度都道府県技師会との関連事業（予定）について

- 平成 31 年度事業計画（案）

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

【議題】

1. 青臨技 HP「臨床検査技師の求人情報」掲載について

太田渉外部長より、HP 掲載のための「求人掲示板依頼フォーム」案が提示された。注意事項として、求人先との連絡は施設と各個人とで行い、青臨技としては求人情報の提供のみ行うことを確認した。理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 青臨技名誉会員・永年会員の会員証発行について

野坂事務局長より、青臨技永年会員制度の案内・申し込みについて説明があった。

永年会員に申し込むことで会誌や研修会の案内などの情報提供を受けることができ、青臨技、青臨技各支部主催研修会などへの参加も可能となることから検討いただくよう文書で案内する。

会員証を発行し、学会等に提示していただけるように準備を進めています。

研修会での受付の際、日臨技の会員証のほかに、名誉会員・永年会員の会員証も存在することになるので周知していただきたい。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

3. 2019 年度青臨技予算案作成について

齋藤会長より説明があった。

2019 年度予算案を作成し 3 月の理事会に諮ることになります。2020 年度からの青臨技の会費を見直し、6 月の総会に諮ることとします。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された

4. 会員へのメール配信について

試行として日臨技システムよりメール配信してきたが、正式に日臨技システムを利用した施設長宛メール、会員宛メールを利用していきたいので、各施設へ案内をする。

5. その他

齋藤会長より、2019 年度事業計画（案）について説明があった。

- 1) 青臨技医学検査学会
- 2) 高校生心電図検診
- 3) 都道府県技師会リーダー育成研修会
- 4) 青臨技災害対策マニュアル改定
- 5) 各部門研修会
- 6) 精度管理調査及び報告会
- 7) 第 8 回北日本支部学会への協力
- 8) 高校生ガイダンス

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

平成 30 年度第 7 回理事会議事録

1. 日 時：平成 31 年 3 月 16 日
2. 場 所：ねぶたの家 ワ・ラッセ 1 階 交流学習室 2
青森市安方 1 丁目 1-1 Tel:017-752-1311
3. 出席者：齋藤浩治、石山雅大、三上英子、太田孝雄、柴田絵里子、野坂知加、高橋智代、吉田泰憲、
十文字礼子、番場隆彦、丸光夫、山本沙織、田代博美、佐々木久、津田昭子
欠席者：吉岡治彦、三橋淳治

定款第 5 章第 32 条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に十文字理事が指名され、審議が行われた。

【報告事項】

1. 第 6 回理事会議事録報告
齋藤会長より、資料として配布された「平成 30 年度第 6 回理事会議事録」に従って報告があった。
議事録の内容について了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。
2. 学術部経過報告
石山学術部長より特になしとの報告であった。
3. 公益部経過報告
三上公益部長から、以下の報告があった。
心電図検診について、三八支部では機器の操作説明をしてほしいとの要望があった。派遣技師については自宅会員の協力もあるが、日臨技の会員・非会員の区別がわかるように連絡がほしいとの意見があった。

齋藤会長より、電極の取り付けは女性技師が望ましいのが、女性技師の確保が難しい場合は看護師で対応できないか検討してはどうかとの意見があった。
4. 渉外部経過報告
太田渉外部長より特になしとの報告であった。
5. 事務局経過報告
野坂事務局長より、「青臨技永年会員制度」の案内を青臨技の HP に掲載したとの報告があった。
6. 第 46 回青森県医学検査学会の進捗状況について
佐々木理事より第 46 回青森県医学検査学会の進捗状況について報告があった。
6 月 15 日（土）精度管理講習会、青臨技定時総会、情報交換会、16 日（日）青森県医学検査学会の予定である。演題登録は、20 題を目標としている。
特別講演は協同組合タッペングループ代表理事である川嶋氏に決定した。教育講演としての若手実行委員企画も動き始めたようだ。ランチョンセミナーは、募集中である。
今後の予定として、会場の下見、情報交換会の企画・会費の決定。
また、6 月 15 日・16 日に青臨技事務局や支部の会議、学術部門の会議等の予定があったら教えてい

ただきたい。

齋藤会長より、青臨技役員の監事1名が欠員なので、選出して総会に諮るようすすめる予定であるとの報告があった。

野坂事務局長から、青臨技事務局、学術会議を行いたいとの申し入れがあった。

7. その他

1) 齋藤会長より北日本支部幹事会について以下の報告があった。

① 第7回北日本支部医学検査学会について

平成30年度青臨技定時総会において、北日本支部学会の助成金として200万円の承認を得ていたが、約77万円の支出で済んだ。学会の参加者が多かったことや、学会の抄録集をPDF形式で行ったことで印刷代を削減できたことが大きい。

また第7回北日本支部学会の決算報告で15,760円の赤字になったが、日臨技から補填された。

② 第8回北日本支部医学検査学会（山形県担当）について

2019年10月5~6日 山形テルサと霞城セントラルの2会場で開催。一般演題登録は、4月~6月21日締め切りの予定。

③ 第69回日本医学検査学会（2020年福島県担当、宮城県で開催予定）について

2020年4月24日 スキルアップ研修会

2020年4月25~26日 第69回日本医学検査学会

④ eラーニングは病院単位で行えるように検討中。

⑤ 検体採取指定講習会について、宮城県での開催は8月と12月の2回で終了。

⑥ その他の予定について

- 2019年福臨技の法人化30周年記念式典開催
- 2020年10月17~18日 第9回北日本支部医学検査学会開催（岩手県盛岡市）

2) 齋藤会長より以下の報告があった。

求人募集を青臨技のHPを利用できる旨の案内を各施設にする予定である。

【議題】

1. 2019年度青臨技予算案について

齋藤会長より、配布資料「2019年度青臨技予算案」について説明があった。

ここ数年の決算報告と2019年度青臨技予算案から、青臨技会費の値下げ（1000円）を6月の定時総会に諮ることとする。定時総会で承認が得られれば、2020年度から適応される。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

2. 表彰関連について

齋藤会長より配布資料「表彰規定」に基づき説明があった。

1) 青臨技表彰規定「別表1 功労者選考基準」について

「3.会長又は常任理事、理事などの役員及び日臨技学術委員等の経験者」の「日臨技学術委員等」は、昨年度「北日本支部および青臨技学術委員」を含めることを平成29年度の第4回理事会で決定していたが、規定の変更をしていなかった。

変更案として「会長又は常任理事、理事などの役員、日臨技・北日本支部・青臨技学術委員等の経験者」とする案が提示された。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

- 2) 青臨技表彰規定「別表2 奨励者選考基準」について履修単位一覧について、青臨技部門長は北日本支部部門員（1期）を兼ねることから、青臨技部門長（1期）での履修単位のみとし、北日本支部部門員（1期）の履修単位（8点）をなくしてはどうかとの意見があった。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

- 3) 2019年度表彰対象者について

特別功労賞 佐藤裕久氏（青森県環境保健センター）
功労賞 宇野善成氏（黒石市国民健康保険黒石病院）
齋藤仁氏（下北医療センターむつ総合病院）
西村司氏（青森県立中央病院）
三橋淳治氏（三沢市立三沢病院）
澁谷悟氏（つがる西北五広域連合つがる総合病院）
奨励賞 高木友幸氏（独立行政法人労働者健康安全機構青森労災病院）
津嶋里奈氏（青森市民病院）

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

3. 2019年度事業計画（案）について

野坂事務局長より、配布資料「2019年度事業計画（案）」に基づき説明があった。

【会務】

1. 通常総会
2. 理事会・常任理事会
3. 各種委員会

【事業】

1. 地域住民への衛生思想の普及啓発及び地域保健事業への協力に関する事
2. 学会及び学術的な研修会の開催、精度管理調査、検査値標準化の推進に関する事
3. 関連団体との連携交流及び協力に関する事
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

4. 2019年度定時総会の役員の割り当てについて

野坂事務局長より、2019年度定時総会の割り当てについて、各支部で選出し4月26日までに事務局に連絡してほしいとのことであった。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。